



日刊日曜日  
日休月一廿五  
第百五十一號  
廣告料 一元二角  
發行所 印刷部  
発行所 印刷部  
新島市大町二二  
新島市大町二二  
新島市大町二二

### 常識講座

ナチュラリズムは天然又は自然のことだ、ナチュラリズム・サイエンスと云へば自然科学、ナチュラリズム・セクシヨナルは自然淘汰、ナチュラリズムは自然、ナチュラリズム・ローは自然律だ

- 十銭づゝ本多朝忠 齋藤作  
川島一郎 飯野三郎 坂本  
馬場一太郎 飯野三郎 坂本  
兼次郎 大泉源三郎 高橋  
武夫 佐藤三郎 松浦章一  
園つゝ 山崎正三 藤井角馬  
上野野原 鈴木輝代 石川  
南雄 草野代郷 山崎朝光  
志賀正己 吉井永藏  
石橋公司(以上)
- 中野庄市 渡邊一雄 五十  
嵐平伍 本間孝之進 鈴木  
上 佐久間和雄 栗原銀  
兒 森喜恵治 加藤平八  
柴野秀市 坂本哲雄 長橋  
豊吉 中村直重 藤内祐作  
船沼きみ 佐藤つき 大伴  
志賀秀雄 山崎朝光  
石橋公司(以上)

### 應召者の後を食ふ

### 銃後の反逆者

#### 弟の餞別をゴマカシた上に 扶助料にも目をつける

支那事変による應召軍人の銃後には病妻を置いて立つた兄弟が同胞の義を盡して其の看護醫務を受け出るも他に頼りなき家族を残して出でた後を隣人が援けて後顧の憂をなからしむるもの幾多の佳話や美談が少なくないが茲にはまた其れを逆に非國民と云ふも尚ほ物足らぬ殘虐鬼がある所は平市市立町大谷某(三〇)君が妻お何(三三)を戦地に向けた其の後を養育平發電所に向く其の餞別を着服

### 東北化学工業所が 十萬圓の株式に成る

#### 事業に當つた三名の成金 八年前の數百萬圓の投資

欧州戦亂當時に於ける石城地方の成金續出は今や夢物語になつてゐるが今次の北支事變から支那事變に擴大した軍需關係の各工場は異常な好況に恵まれ就中化学工業場の興隆は物凄程の目ざましさであるこの軍需インフレの波に乗じて近年平市に於て拍中の躍進を見せつゝあるものに東北主小谷野衛氏が本縣沼尻の日本硫酸株式會社沼尻工場に

### 軍事後援會の寄附

#### 累計三千八百九十六圓

- 平市軍事後援會に於て市内各區の成金により資金一萬餘圓を見込み造成計畫が順調な進展を見てゐることは既探納の分を昨紙に報じた如く三千五百三圓に達した其の分は北目町方面に於て百四圓、堤の内から金四圓、八幡小路方面より百四十一圓の合計金五百九十三圓で寄附者の氏名は左記の如く外に昨十五日片倉製糸から義金された二百五十圓を合せ八百四十三圓に上り前記三千五百三圓に累計すれば三千八百九十六圓で尙ほ廿數圓を残す同寄附額は一萬五千圓を超えるであらうと
- ▲北目町方面 二十圓志賀定八圓高橋一圓 七圓有賀幸太郎 九圓中島下雄 五圓つゝ 安戸武雄 近藤やす野野秀次郎 久野西松 小野金太郎 武田祐 佐々木龍若 松崎哲太郎 土岐昇
- 三圓つゝ 遠藤盛 椎名博水野猪吉 馬場豊次郎 佐久間重臣 ▲堤の内方面 四圓第廿區 ▲沼尻方面 二十圓有馬公一 十五圓田中綱申藏 十二圓大河原金之助 高橋よし 十圓つゝ 中島十藏 伊藤昌二 花澤五五 櫻村善徳 赤塚勇吉 鈴木末吉 森下安吉 野崎三吉 五圓佐々木代吉 ▲八幡小路方面 百五十八圓五十圓酒井秀次郎 同一 十五圓つゝ 鎌田三吉 吉田金作 柴田徳二 十圓渡邊久八 川山下男 五圓五十圓中川宗一 四圓五十圓米本留藏 三圓五十圓池澤權治郎 三圓つゝ 桑原信之 伊東芳三 日野良太郎 遠藤七郎 志賀孝吉 鈴木利平 松崎政重 赤木重吉 渡邊三三 二圓つゝ 仲原信行 殿木宗直 宮澤藤三 鈴木愛蔵 二圓つゝ 山内眞寅 齋藤貞信 宇佐神直人 酒寄榮一 山本信子 杉谷川留藏 藤野武子 松井深木 本田勝太郎 木桶好孝 石井久治 小野榮一 一圓五

### 小濱港の繼續工事

### 六萬圓の豫算で施行

#### 防波堤の延長と港内の浚渫 活用をまたれる完成

石城郡植田町の小濱漁港は去昭和七年からの繼續事業で工費八萬圓の修築を施行した防波堤の延長を行はざれば港内の岩盤堆積を要するの弊に足らぬ爲め同地の漁獲物の積置場滞滞に陸揚げされ地元取引の利とならず繼續工事の施行を陳情運動中であつたが今回工費六萬圓の續行工事を指令され地元植田町役場の請負で近々着工の筈である竣功予定は明年三月末になつてはゐるが本縣沿岸の難工事と云はれる同所の上にはかかる施工には期間的の支障が無く繰越は餘儀かなく工事設計は防波堤の延長と前記の浚渫で此の完成と同時に漁船碇泊の甚大なる利便をまたれる

### 農林省の 漁港調査

#### 本縣濱通りの各漁業地に於ける 漁港計畫並に船溜り施工關係調査のため農林省漁政課から来る二十日太田技手出張の筈で縣土木課から木村河川港灣技師も來郡當日は石城南部の九面から小濱、小名濱、江名、豊間、四倉を廻り爾後双葉、相馬方面の同調査に移る豫定である

### 助成會へ五十圓

#### 平市市立町高階ふみさんは此の程愛兒を失つた慰靈のため今十六日金五十圓を市の助成會に寄附した

### 平土木委員會

#### 平市では明十七日土木委員會業務制に関する協定書を作製し、有効なる實績を擧ぐることに努力し、中央委員會、地方委員會を通じて分擔計畫總括表を作り銃後の後援についての復讐を保障せんとする趣旨の下に昭和六年十一月一日より入管者職業保障法が實施せられてゐる、本法に於ては何人も誰も被備者を求めたるは求職者の採否を決定する場

### 早稻田高等學院 生家出自殺の虜

#### 東京市大森區大森七の五五菊地休松(四男四郎三三)は早稲田高等學院一年生だが萎縮性

### 銃後施設

#### 昭和十一年度に於て右扶助の實施状況は扶助戸數約五萬人員約九萬、扶助費約四十萬圓の外、慰安會、慰靈祭等を執行の爲め約十萬圓を支出してゐる、これ等の事業實施になつてゐるが今次の事變に際しては有力團體に於ては事

### 明日石城郡農事務所

#### 鼠疫にかゝり難治を苦にしてゐたが去る八日午後一時半頃制服制帽で家出のまゝ、行方不明となり心當りを探してゐるが發見されず自殺の虞れがあるからと今十六日實父から平署に捜索方を頼出た

### 詐欺外交員

#### 東京市目黒區上目黒五の二六四六東京廣告用品聯盟共同販賣所合名會社東廣社外交員海野芳郎(三三)は本年四月三十日平市三丁目四八號城愛大研究會責任者佐藤與全氏方に至り洋銀メタル桐箱付二十五個價十九圓二十五錢と銅製の參加章桐箱付三十個價二十二圓計三十一圓二十五錢の洋文を受け手付金として六圓六角を入手したまゝ約束の品を送らず逃走したので被害者に訴へられ目下平署の取調べ中である

### 苗代共進賞品授與

#### 一等は各郡一入賞八十三名

### 濱通農會聯合主催

#### 苗代共進賞品授與

### メタル屋の

#### 詐欺外交員

# 農業方面

## 麥作の施肥は 斯うする (四)

縣農試松浦生

故に若し石灰窒素の施肥量を反當一と發位にすればもつと肥効が發揮せられるのではないかと考へてゐる、石灰窒素は撒布後の温度により分解の遅速が非常に影響せられるから播種前相當早く少しも氣候の温かい内に撒布した方がよいと考へる、兎に角石灰窒素は最も割安な窒素肥料であるから肥料の此の際大いに研究して見る價值がある、今年の麥から研究的にやつて見れば如何、施用法は改めて指導しやう、恐ろしがつて引込んでゐたんで改良も進歩も望やれない、

磷酸質肥料では矢張過磷酸石灰が最も割安であり最も肥効が高い、骨粉や磷酸アルミナの肥効は大分劣つて來る、これなども水稲と異なつた點であらう、

加里質肥料としては木灰硫酸加里、鹽化加里の三者であるが木灰はその肥効に於て化學肥料に劣らず、且つ酸度を中和する性質を有するから麥の肥料として最も適するものである、硫酸加里、鹽化加里については何れも大差はない値段から云へば鹽化加里が得である、硫酸加里と鹽化加里(トロナ)とは十貫目の價格に同じ位である、十貫目の中硫酸加里は四貫八百の加里を、含み鹽化加里は六貫目の加里を含んでゐるから鹽化加里の方が大分割安である、鹽化加里は澱粉を貯藏する作用を妨

げる性質があるから製粉用小麦には適しないが大麥などには用ひてよろしい。

正確な体温計  
なる一寒暖計(種各)  
計量器指定販賣  
平市五丁目角  
山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢  
肉の御 用命は 三三三 三三三 三三三  
平市 町野

看護婦  
急派のため  
に應じます  
平看護婦  
電話二〇五

### お醤油は ヤマフル

醤油味贈  
たひら正宗  
鯉節食料品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 本 店部 二七〇番

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士  
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話二六九番」

水久喜 町南市平

番八二七話電

料理 仕理 出

喫茶 事。  
喫茶。  
酒場を兼ねた。

レストラ

サロ

町田平 二五三電

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科

平市田町 電話五一三番

高久病院  
院長 醫學士 高久忠

診療科目  
口腔外科、補綴科  
保存科、齒列矯正科  
小兒齒科  
(其他齒科一般)

毎日晝夜診療  
日曜午後休み

平市田町(藤田女學校前)  
齋藤齒科醫院  
齋藤賢三

優良品 質高 價廉

本庄酒造

電話 五〇五

診療科目  
一、齒科 一般  
保存科、補綴科、鑲齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿瘍科、一、口腔外科  
レントゲン科

平市田町 (松月堂向ひ)  
院長 醫學士 西川誠  
日本齒科 醫學士 中野憲次  
日本齒科 醫學士 西川誠

電話五〇九番

平病院 (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 院長 醫學博士 鈴木定藏  
小兒科 部長 醫學士 池谷宗三郎  
皮膚泌尿科 部長 醫學士 鈴木定藏  
レントゲン科 部長 醫師 鈴木定藏  
物理療法科 技師 岡田重徳  
藥劑科 部長 藥劑師 吉本幸平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで  
夜間診療は従はず(急患は此限にあらず)

往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)

藤沼醫院  
平市新川町 電五〇七

ス・ペ・イ・ン・G・H・N 元誌  
ゴルフポートワイン

電話 一〇〇〇

製法の方には少し水を加へて召し上ると風味一層佳良です

(平2) 西村屋藥舗 (電3)

諸毒下しの大妙藥  
安流丸

持約 山野邊藥局

平市五丁目

一般印刷物も御引受致します  
新しいわき新聞社